

子どもの
心の診療
シリーズ

子どもの心の 処方箋ガイド

診察の仕方／診断評価／治療支援

【総編集】 齊藤万比古



中山書店

子どもの
心の診療
シリーズ

子どもの心の 処方箋ガイド

診察の仕方／診断評価／治療支援

【総編集】

齊藤万比古

【編集】

本間博彰

松本英夫

宮本信也

【編集協力】

飯田順三

生田憲正

小野善郎

笠原麻里

田中康雄

傳田健三

(五十音順)

中山書店

【読者の方々へ】

- 本書に記載されている診断法・治療法については、出版時の最新の情報に基づいて正確を期するよう最善の努力が払われていますが、医学・医療の進歩からみて、その内容がすべて正確かつ完全であることを保証するものではありません。したがって読者ご自身の診療にそれらを応用される場合には、医薬品添付文書や機器の説明書など、常に最新の情報に当たり、十分な注意を払われることを要望いたします。
- 本書における DSM-5 の病名については、原則として日本精神神経学会 精神科病名検討連絡会作成「DSM-5 病名・用語翻訳ガイドライン」に即しました。

序

本書の使い方

本書は『子どもの心の診療シリーズ』全8巻のスペシャル・イシューとして、子どもの心の診療に携わる医師やその他の職種の専門家が身近に置き、臨床上のヒントを求めて気軽に参照できることを目的として、シリーズ各巻に関与した著者陣に加え新たな多数の著者に依頼して取り組んだガイドブックである。

題名を『子どもの心の処方箋ガイド—診察の仕方／診断評価／治療支援』としたのは、若き初心者を含む子どもの心の診療にあたる臨床家が診断や治療・支援をめくり持った疑問や迷いに、すぐに役立つ答えを提供することを目指したという意味で「処方箋」という用語を採用したものである。したがって、子どもの心の診療に必要と考える基本項目を可能な限り採用し、それに可能な限り具体的でコンパクトな解説を行うことを各項目執筆にあたってのコンセンサスとした。

本書は、Iとして「診察の仕方・診断評価法」、IIとして「精神医学的治療・支援法」、IIIとして「各障害群の診療の仕方」と大きく3領域に分けたうえで、そのおのおのの小項目を設定するという構成になっており、各項目執筆者は可能な限り共通のフォーマットで解説することを課せられている。このため本書は一種の小事典と呼べるものとなっており、臨床現場ですぐに参照できるヒント集となっている。

同時に本書は、子どもの心の診療についてのアウトライ
ンを知りたいと希望する当該領域以外の医療関係者や、教
育、児童福祉、障害福祉、母子保健など関連領域の専門家
が手軽に手に取り、疑問な点の明解な回答を得ることがで
きる必携の書となることも目指している。

本書は、各項目の内容をあくまで目の前の疑問に答える
という水準に限定することで、厚すぎるガイドブックとな
らないことを心がけた。そのため、本書の表現では物足り
ないという読者も多数存在すると考えられるが、その際
には本シリーズ各巻に収めた該当する章を参照することを推
奨したい。

2014年2月

齊藤万比古

子どもの心の診療シリーズ
子どもの心の処方箋ガイド
診察の仕方／診断評価／治療支援

CONTENTS

1. 診察の仕方・診断評価法

1. 初回面接	本間博彰	2
2. 構造化面接・半構造化面接	根來秀樹	5
3. 子どものための各種質問紙法の用い方		
a. 質問紙法の利用の仕方	根來秀樹	7
b. CBCL	清田晃生	10
c. ADHD 評価尺度	田中康雄	12
d. PDD 評価尺度	山下 洋	14
e. 抑うつ尺度	齊藤卓弥	16
f. 不安尺度	渡部京太	18
g. 解離尺度	田中 究	20
h. ARMS 評価尺度	新井 卓	22
i. PTSD 評価尺度	亀岡智美	24
4. 医学的診断・評価法		
a. 医学的診断・評価法の必要なとき、その選び方	飯田順三	26
b. 血液検査, 尿検査, 脳脊髄液検査	岩垂喜貴	29
c. 心電図	小平かやの	32
d. 脳波検査	林 北見	34
e. 事象関連電位	太田豊作	37
f. 脳画像検査	加藤元一郎	40
5. 心理テスト		
a. 心理テストの必要なとき、その選び方	森岡由起子	43
b. 新版 K 式発達検査 2001	中田洋二郎	46
c. 知能検査—田中ビネー知能検査 V と 日本版 WISC-IV 知能検査	中田洋二郎	49
d. 描画テスト	森岡由起子, 沢 哲司	53
e. 文章完成法, P-F スタディ, CAT	松本真理子	57
f. Rorschach テスト	松本真理子	61

6. 認知機能検査

- a. 認知機能検査の必要なとき, その選び方 … 小平雅基 65
- b. DN-CAS …………… 小林朋佳, 稲垣真澄 68
- c. Wisconsin Card Sorting Test (WCST)
…………… 小平雅基 71
- d. 標準注意検査法 (CAT) …………… 小平雅基 74

7. 確定診断

- a. 診断・評価結果から確定診断へ
(フォーミュレーション) …………… 山下 洋 77
- b. 確定診断の家族への伝達 …………… 石塚佳奈子, 本城秀次 80
- c. 子ども本人への障害告知 …………… 飯田順三 82

II. 精神医学的治療・支援法

1. 子どもの精神医学的治療・支援の組み立て … 齊藤万比古 86

2. サイコセラピー

- a. 子どものサイコセラピー適用の考え方 … 齊藤万比古 89
- b. 乳幼児-母親間の愛着形成をめぐる治療 … 小平かやの 94
- c. プレイセラピー (遊戯療法) …………… 佐藤至子 97
- d. 認知行動療法 …………… 堀越 勝 100
- e. 行動療法—曝露法を中心に …………… 飯倉康郎 103
- f. ソーシャルスキルトレーニング (SST) … 岩坂英巳 106
- g. 支持的精神療法 …………… 松本英夫 109
- h. 力動的精神療法 …………… 生地 新 111
- i. 集団精神療法 …………… 渡部京太 114
- j. 親ガイダンス・心理教育 …………… 野中舞子, 金生由紀子 117
- k. ペアレント・トレーニング—ADHDを中心に
…………… 岩坂英巳 120
- l. 家族療法 …………… 中村伸一 123

3. 薬物療法

- a. 子どもの薬物療法適用の考え方 …………… 岡田 俊 126
- b. 抗精神病薬 …………… 松本英夫 129
- c. 抗うつ薬 …………… 傳田健三 131

d. 抗不安薬	岡田 俊	133
e. 抗 ADHD 薬	飯田順三	136
f. 気分安定薬	岡田 俊	139
g. 抗てんかん薬	岩垂喜貴	141
h. 睡眠障害治療薬	岩垂喜貴	143

4. 関連機関との連携

a. 教育機関との連携	田中康雄	145
b. 児童相談所との連携	近藤直司	147
c. 精神保健福祉センター・保健所との連携	小野善郎	149
d. 子育て支援機関との連携	田中康雄	151
e. 警察・刑事司法機関との連携	生島 浩	153

III. 各障害群の診療の仕方

1. 発達障害とその周辺の問題

a. 知的障害（精神遅滞）	宮本信也	156
b. 自閉症スペクトラム障害	内山登紀夫	161
c. 注意欠如・多動性障害	山室和彦, 飯田順三	166
d. 学習障害	小林朋佳, 稲垣真澄	171
e. 表出性言語障害	小黒範子	174
f. 吃音症	小黒範子	177
g. 発達性協調運動障害	平林伸一	180
h. 発達障害とその二次障害	宮本信也	183

2. 主として児童期に発症するとされる精神障害

a. 選択性緘黙	渡部京太	187
b. 分離不安障害	須磨一剛	192
c. 遺尿症	北山真次	197
d. 遺糞症	北山真次	200
e. 反応性愛着障害	笠原麻里	203

3. 身体表現性障害と摂食障害

a. 身体表現性障害		
i. 身体化障害	増子博文	208
ii. 転換性障害	金田昌子, 吉岡眞吾, 本城秀次	212

iii.	疼痛性障害	平川清人, 西村良二	217
iv.	心気症	本田洋子, 西村良二	219
v.	身体醜形障害	竹内直樹	221
b.	摂食障害		
i.	神経性無食欲症	宇佐美政英	224
ii.	神経性大食症	生田憲正	229
iii.	食物回避性情緒障害 (FAED)	生田憲正	234
iv.	機能的嚥下障害	北山真次	236
c.	関連する障害		
i.	起立性調節障害	田中英高	239
ii.	機能的消化管障害 (過敏性腸症候群)	竹中義人	244
iii.	睡眠・覚醒障害	宮島 祐	250
iv.	過換気症候群	須見よし乃, 氏家 武	257
v.	小児のターミナル・ケア	宮本信也	259
4.	不安障害と気分障害		
a.	不安障害 (パニック障害, 社交不安障害)	朝倉 聡	262
b.	大うつ病性障害	傳田健三	268
c.	持続性抑うつ障害 (気分変調症)	齊藤卓弥	272
d.	双極性障害	齊藤卓弥	278
e.	月経前不快気分障害	齊藤卓弥	283
f.	重篤気分調節症	齊藤卓弥	286
5.	強迫性障害とチック障害		
a.	強迫性障害	住谷さつき	291
b.	慢性チック障害	金生由紀子	296
c.	Tourette 障害	金生由紀子	299
6.	解離性障害	武井 明	304
7.	心的外傷関連障害		
a.	急性ストレス障害	亀岡智美	309
b.	心的外傷後ストレス障害 (PTSD)	田中 究	315
8.	破壊的行動障害		
a.	反抗挑戦性障害	原田 謙	322
b.	素行障害	富田 拓	326
c.	薬物乱用	松本俊彦	329

9. 統合失調症

- a. 統合失調症 松本英夫 332
b. ARMS 新井 卓 336

10. 関連する現象

- a. 児童虐待 井出 浩 339
b. 不登校・ひきこもり 近藤直司 344
c. いじめ 田中康雄 347
d. 自殺 三上克央 350

付録：検査法入手先一覧 355

索引 357

執筆者一覧 (執筆順)

齊藤万比古	総合母子保健センター愛育病院小児精神保健科
本間博彰	宮城県子ども総合センター
根来秀樹	奈良教育大学障害児医学分野
清田晃生	大分大学医学部小児科・児童精神科
田中康雄	こころとそだちのクリニック むすびめ
山下 洋	九州大学病院子どものこころの診療部
齊藤卓弥	北海道大学大学院医学研究科児童思春期精神医学
渡部京太	国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科
田中 究	神戸大学大学院医学研究科精神医学分野
新井 卓	神奈川県立こども医療センター児童思春期精神科
亀岡智美	兵庫県こころのケアセンター
飯田順三	奈良県立医科大学看護学科
岩垂喜貴	国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科
小平かやの	東京都児童相談センター
林 北見	東京女子医科大学八千代医療センター発達小児科
太田豊作	奈良県立医科大学精神医学
加藤元一郎	慶應義塾大学医学部精神神経科学
森岡由起子	大正大学人間学部
中田洋二郎	立正大学心理学部
沢 哲司	北里大学大学院医療系研究科
松本真理子	名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター
小平雅基	総合母子保健センター愛育病院小児精神保健科
小林朋佳	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
稲垣真澄	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
石塚佳奈子	刈谷病院
本城秀次	名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター

佐藤至子	仁愛大学大学院人間学研究科
堀越 勝	国立精神・神経医療研究センター・認知行動療法センター
飯倉康郎	筑後吉井こころホスピタル
岩坂英巳	奈良教育大学特別支援教育研究センター
松本英夫	東海大学医学部専門診療学系精神科学
生地 新	北里大学大学院医療系研究科
野中舞子	東京大学大学院教育学研究科
金生由紀子	東京大学大学院医学系研究科こころの発達学分野
中村伸一	中村心理療法研究室
岡田 俊	名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科
傳田健三	北海道大学大学院保健科学研究院生活機能学分野
近藤直司	東京都立小児総合医療センター児童・思春期精神科
小野善郎	和歌山県精神保健福祉センター
生島 浩	福島大学大学院人間発達文化研究科・学校臨床心理専攻
宮本信也	筑波大学人間系
内山登紀夫	よこはま発達クリニック／福島大学人間発達文化学類
山室和彦	奈良県立医科大学精神医学
小黒範子	とちぎリハビリテーションセンター小児科
平林伸一	長野県立こども病院神経小児科
須磨一剛	岐阜病院精神科
北山真次	神戸大学医学部附属病院親と子の心療部
笠原麻里	駒木野病院児童精神科
増子博文	福島県立医科大学医学部神経精神医学
金田昌子	東尾張病院
吉岡眞吾	東尾張病院
平川清人	水戸メンタルクリニック
西村良二	福岡大学医学部精神医学
本田洋子	福岡大学医学部精神医学

- 竹内直樹 横浜市立大学附属病院児童精神科
- 宇佐美政英 国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科
- 生田憲正 国立成育医療研究センターこころの診療部思春期メンタルヘルス診療科
- 田中英高 大阪医科大学小児科・発達小児科
- 竹中義人 たけなかキッズクリニック
- 宮島 祐 東京医科大学小児科
- 須見よし乃 札幌医科大学小児科
- 氏家 武 北海道こども心療内科氏家医院
- 朝倉 聡 北海道大学保健センター・大学院医学研究科精神医学分野
- 住谷さつき 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部精神医学分野
- 武井 明 市立旭川病院精神科
- 原田 謙 信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部
- 富田 拓 国立きぬ川学院
- 松本俊彦 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
- 井出 浩 関西学院大学人間福祉学部人間科学科
- 三上克央 東海大学医学部専門診療学系精神科学